

Sustainable Report No.057

# My箸を使用して 森林を守る



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。  
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

## 社会課題

- 1990年から2020年の間に、世界の森林のうち**1億7,800万ヘクタール以上が失われた**
- 世界的な人口増加による**森林資源の利用拡大**、温暖化による気候変動の進行、このような環境の変化から森林の再生は容易ではないと考えられる
- 日本において森林資源の消費を象徴する割り箸は、2021年に**約138億膳が輸入**され、その推移は減少傾向にあるが未だ消費は多い
- 外食産業などの企業では、再生材品や再利用可能なものへ切り替えるなど、**資源の使い捨てを見直す**動きが出てきている

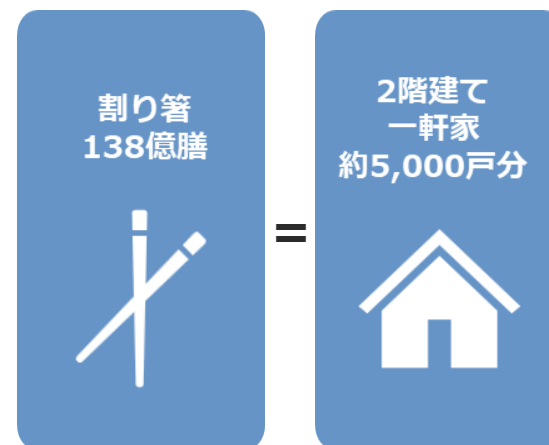
## 世界の森林面積の推移

年	森林面積 (1000ha)	森林率 (%)
1990	4,236,433	32.6
2000	4,158,050	32.0
2010	4,106,317	31.6
2020	4,058,931	31.2

※森林率とは、陸地面積に対する森林面積の割合のこと

出典：森林・林業学習館

## 割り箸の輸入量イメージ



参考：銀河書房

## 割り箸削減のために企業ができることは

## ■解決事例

- 全世界に567店舗持つ大阪の回転寿司チェーンくら寿司株式会社は、昭和52年に創業、**子や孫の代まで魚が食べられる未来**に向けて環境保護活動に取り組んでいる
- 「今すぐできる、エコにいい事」を合言葉に、店内飲食で**Myお箸を持参する利用客に値引き**（1人につき10円）を行い、顧客と共に環境問題に取り組む姿勢を示す。
- 他の飲食業の企業では、環境保護への取り組みよりも**利用客の利便性や衛生面を重視**し、割り箸を積極的に利用する店舗がまだ多い。

## ■くら寿司が取り組む課題

## ■Myお箸キャンペーン



出典：左右ともにくら寿司株式会社

## 人と環境に配慮したビジネスモデルの展開へ

## ■企業展望

- My箸は、持ち運びが必要かつ使用後に洗うなど利用客にとって手間がかかるため、店舗から**強制するような案内は行いづらい**と考えられる
- 環境に配慮した選択や行動が、**手間を上回るメリットや心地よい共感**を得られる店舗体験となることが理想である
- 店舗として考え方を意思表示した上で、利用客が協力するという目線ではなく、店舗が利用客の**背中を押すような選択肢の提示とコミュニケーション**が期待される

## ■声掛けや案内の例

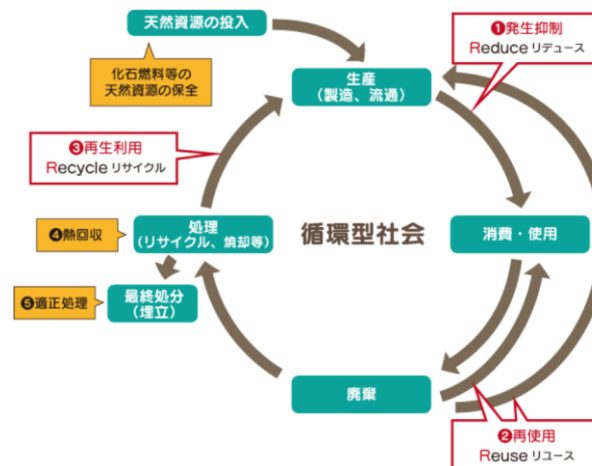
使い捨ての  
割り箸をお付け  
しますか？

Myお箸を  
お持ちですか？

このお箸は  
繰り返し使える為  
持帰りいただけます

よろしければ  
食器用洗剤を  
貸出しております

## ■循環型社会のイメージ図



出典：群馬県環境政策課

# 資源の使い捨てが当たり前ではない社会づくり

## ■ミニストップの木づかい活動

- コンビニエンスストアチェーンのミニストップ株式会社は、積極的な「一声運動」を通じ、箸やレジ袋の要否を確認する声掛けや、レジ袋の薄肉化、適正サイズの利用徹底を進めている
- 2006年、**国内の杉や桧の間伐材や端材でつくられた割り箸**を1膳5円で提供する「5円の木づかい箸」を販売開始、全国の店舗へ展開し、森林整備に繋げている
- 2009年からは、適正に管理された森林から切り出された**FSC認証材を活用した店舗作り**を行っている
- 2017年からは、**竹箸の提供**に切り替えた

## ■木づかい活動



出典：木づかい.com

## ■ミニストップ

### 「ウッドデザイン賞2015（新・木づかい顕彰）」受賞

国産FSC®認証木材を使用した店舗が、2015年「ウッドデザイン賞2015（新・木づかい顕彰）」を受賞しております。「ウッドデザイン賞」とは「木」に関するあらゆるモノ・コトを対象に、暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにするという3つの視点から、デザイン性が優れた製品・取組等を表彰する2015年に創設されたアワードです。ミニストップの「FSC®認証木材店舗」は、ソーシャルデザイン部門にて同賞を受賞いたしました。



出典：ミニストップ

## ■ 参照・引用資料

- 銀河書房,「割り箸で森が救えるか: 森林王国・長野県からのレポート」,1991年出版(<https://wood.co.jp/bk/bk-chikako.htm>)
- 農林水産省,「世界森林資源評価 (FRA) 2020 メインレポート 概要」,2023年4月10日参照 (<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/attach/pdf/index-5.pdf>)
- 森林・林業学習館,「世界の森林面積と森林率」,2022年9月22日閲覧 ([https://www.shinrin-ringyou.com/forest\\_world/menseki\\_world.php](https://www.shinrin-ringyou.com/forest_world/menseki_world.php))
- くら寿司株式会社,「SDGsへの取り組み」,2023年4月21日閲覧 (<https://www.kurasushi.co.jp/mirai/sdgs.html>),  
パンフレット ([https://www.kurasushi.co.jp/mirai/pdf/sdgs\\_20210727.pdf](https://www.kurasushi.co.jp/mirai/pdf/sdgs_20210727.pdf))
- くら寿司株式会社,「2022年10月期 決算説明会」,2022年12月13日 ([https://www.kurasushi.co.jp/company/ir/upload\\_file/tdnrelease/2695\\_2022121216342301\\_P01\\_.pdf](https://www.kurasushi.co.jp/company/ir/upload_file/tdnrelease/2695_2022121216342301_P01_.pdf))
- JEMS,「循環型社会の方向性」,2022年9月28日閲覧(<https://www.j-ems.jp/public-ict/column/column-1407/>)
- 群馬県環境政策課,「循環型社会」と「3R」,2023年4月13日 (<https://www.ecogunma.jp/?p=4893>)
- Hilton,「Eco キャンペーン」,2022年9月28日閲覧(<https://www.hiltonnarita.jp/plans/restaurants/630>)
- NOTE,「SDGsに貢献するエコ箸! | 飲食店がエコ箸を採用する意味と利用者の本音」2022年9月28日閲覧([https://note.com/sdgs\\_media/n/n86c9809e56ce](https://note.com/sdgs_media/n/n86c9809e56ce))
- 木づかい,「ミニストップ株式会社」2022年9月28日閲覧(<https://www.kidukai.com/logo/ministop.php>)
- MINI STOP,「生態系の保全と持続可能な利用」,2022年9月28日閲覧([https://www.ministop.co.jp/corporate/eco\\_social/environment/sustainable.html](https://www.ministop.co.jp/corporate/eco_social/environment/sustainable.html))
- 山本 鈴華,「森林を守る国産割り箸の活性化を目指して」,2022年9月22日閲覧(<https://onumaseminar.com/assets/GraduationPapers/15th/yamamoto.pdf>)
- WWF,「森林破壊の最前線」,2022年9月5日参照 ([https://www.wwf.or.jp/activities/data/deforestation\\_fronts\\_summary\\_jp.](https://www.wwf.or.jp/activities/data/deforestation_fronts_summary_jp.))

## ■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



### 小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。